

『サタンが嫌がるもの』おはようございます。 ライブ配信による 節ごとの、みことばの学びによるこそ。私たちは現在、テサロニケ人への手紙第二、3 章を学んでいます。先週第 2 章を終え、今日は 3 章 1 節から 5 節です。ここにいる方で、可能な方はお立ちください、できない方はそのまま結構です。読みますので、目で追って下さい。使徒パウロはテサロニケの教会に向けて書き、聖霊によってこう言っています。

テサロニケ人への手紙第二 3 章

1 最後に兄弟たち、 私たちのために祈ってください。主のことばが、あなたがたのところと同じように速やかに広まり、尊ばれるように。

2 また、私たちが、ひねくれた悪人どもから救い出されるように祈ってください。すべての人に信仰があるわけではないからです。

3 しかし、主は真実な方です。あなたがたを強くし、悪い者から守ってくださいます。

4 私たちが命じることを、あなたがたは実行していますし、これからも実行してくれると、私たちは主にあって確信しています。

5 主があなたがたの心を導いて、神の愛とキリストの忍耐に向けさせてくださいますように。ご一緒にお祈りください。私たちの理解を神が祝福して下さいよう お願いしましょう。

主よ、感謝します。ああ、主よ、心から感謝します。私たちは、あなたの御言葉を公然と読み、このあなたの教会で、信者として一緒に集うことを 私たちが当然のことと 思ってしまうがちな事に 気づかせてくれるような時期に生きていますだから、主よ、私たちはそれを 当然の事と したくありません。このような自由が与えられている事に、心から感謝します。主よ、私たちがあなたの御言葉の中で共に過ごすこの時間、聖書のこの箇所を祝福して下さい。私たちが理解できますように、それを私たちの生活に適用できますように。主よ、私たちの心に語りかけて下さい。イエスの御名によって。アーメン、アーメン。

ご着席ください。 ありがとうございます。今日は、サタンが最も恐れている事について お話したいと思います。それは、私たちクリスチャンが祈る時です。真実を言うと、サタンは祈っているクリスチャンを、私たちが彼のことを恐れるよりも、もっと恐れています。悲しいことに、多くのクリスチャンが騙され、サタンは恐れるべき存在だと信じ込んでいます。実際には、サタンは敗北した敵です。今朝、私が今日の準備をしていた時、主はイザヤ書を思い出させて下さいました。14 章 12 節から 16 節をお分かちしたいと思います。なぜかは、すぐに分かると思います。それはかなり詳細で、具体的な記述で、ルシファーが墮落し、天から追放された経緯のことです。

イザヤ書 14 章

12 明けの明星、暁の子よ。 どうしておまえは天から落ちたのか。 国々を打ち破った者よ。 どうしておまえは地に切り倒されたのか。

13 おまえは心の中で言った。 『私は天に上ろう。(私は) 神の星々のはるか上に私の王座を上げ、(私は)北の果てにある会合の山で座に着こう。』

13(私は)密雲の頂に上り、(私は)いと高き方のように上ろう。』

私い~~ヤイ、ヤイ、ヤ、イ...「私 (I)」が 8 回出てくると思うんですが、誰か確認したらいいかもしれません。ある人がうまく指摘したように、「I (私)」という字は、「罪 (SIN)」という言葉の真ん中にあります。「I (私)」という字は、「プライド (PRIDE)」という言葉のど真ん中にあります。「I (私)」という字は、「ルシファー (LUCIFER)」という名前の真ん中にあります。興味深いですね。それが問題の元なんです。こういう言い方をさせてもらえれば、「私 (I) という問題」なんです。こういうことです。私。私自身。プライド。自分自身を高めること。自分自身を高く評価すること。それで 15 節、この、私、私、私の連続の後で、イザヤは書いています。

15 だが、おまえは (ルシファーのことです) よみに落とされ、穴の底に落とされる。おまえを見る者は、おまえを見つめ、

これは、その時が来たら、私たちは実際にサタンの姿を見る事を意味しています。ネタバレ注意! サタンは赤いタイツを履いておらず、熊手も持っていません。彼は、そんな姿をしてはいません。さて、注目して頂きたいのはここです。イザヤはこう言います。

16 おまえを見る者は、おまえを見つめ、おまえに思いを巡らす。そして、このように言います。『この者が、地を震えさせ、王国を震え上がらせた者なのか?』

まさか!! 「まさか」は入っていません、私が付け加えました。要点はお分かりだと思いますが。言い換えれば、私たちがサタンを見ると、私たちはショックを受けるでしょう。ちなみにこれは両方に当てはまります。私たちは、イエスを見るときも、ショックを受けるでしょう。ところで、再び、ネタバレ注意! 彼は長髪でもないし、青い目でもないし、弱々しくもありません。大変申し訳ないですが、だか

ら。。。まあ、いずれにしても、その話には行きたくありません。イエスの姿を描いた絵や描写 あなたを待ち受けているのは... 何と言いますか...できるだけ愛を込めて言いますが あなたはショックを受けますよ。ご存知のように、彼はユダヤ人です。念のために言っておきますけど、彼は中東の人間です。彼はおそらく、もっと私に似ています おそらくあなたは、これを聞かなければ、残りの人生を平安で

過ごせたはずですよ? 私の言いたい事は? 皆さんは要点はあるのかと思ってるかもしれませんがね。ええ、あります。我慢してお付き合いください。私たちは、心のキャンバスに、サタンをこんな恐ろしい敵として思い描くとき、大きな過ちを犯します。私たちは、サタンが私たちのことを恐れるほどに彼のことを恐れるべきではありません! そして、彼が一番恐れているのは何だと思いませんか? クリスマスが教会へ行くとき、彼は間違いなくそれを嫌います。クリスマスが御言葉に浸るのを 本当に嫌がります。でも言っておきますが、クリスマスが祈るとき、彼はそれを一番嫌がるんです。なぜでしょうか? なぜなら、サタンはそれが決め手になる事を知っているからです。クリスマスが祈れば、それでおしまい。彼は敗北した敵であり、これは彼が最も嫌うものです。ところで、これが理由で・・・こんな事がありますか? あなたが祈る時間を確保すると、文字通り地獄のような大混乱が起こります。小さなお子さんがいる家庭では、突然、今までになかったような大喧嘩を始めてしまう。電話が鳴り、何かが起こり、あれこれ起こります。サタンは、あなたが祈り始めるや否や、それが彼にとって敗北を意味することを知っています。彼は、あなたにそれを知られたくありません。サタンはあなたに、あなたは彼を恐れなければならないと思わせたいのです。絶対に違います! とんでもない。以前にも、話したことがあります、私の人生において... 実は、最近のことで、去年でした 私は非常に困難な試練を経験していたんですが、主が私の心に強く印象付けられたことを覚えています。私が戦っているのは霊的な戦いだ、と。これは激しい霊的な戦いでした。ですから私は、声に出して祈りました。

私がこの話をして、皆さんの私に対する目が変わらなければいいのですが、私は実際に声に出して祈ったのです。「サタン、お前は敗北した敵だ。」「俺はお前に立ち向かう！お前は逃げ去らねばならない！出てゆけ！」すると、彼は去ったのです。ホお～、効いた！って感じです。私は聖句を使いました。それは、イエスが攻撃された時にイエスがなされた事だからです。なお、イエスは申命記から引用しました。そうやって勝利を勝ち取ったのです。私たちは決して敵を恐れてはなりません。敵が私たちを恐れているのです。私たちには力が与えられていますが、それは私たちが祈りと呼んでいるものによってもたらされます。そしてそれは一つ、クリスチャンが利用しないもので、そのため、彼らは自らに危険を招くのです。ああ、あの伝統的な不朽の賛美歌を思い出します。いつくしみ深きともなるイエスは... 私たちは祈りにおいて、全ての必要をイエスに告げる。(心の嘆きを包まず述べて) その中の1節にこうあります。「ああ、私たちは何と不必要に痛みを苦しむことか。それは、祈りにおいてすべてを神に述べないからだ。」それが今日の話です。今日、私たちの前にある聖書箇所の中で、使徒パウロは祈りについて書いています。実に祈りの力について。最初に読んだ時には簡単に見逃してしまいそうな、本当に重要な詳細を教えてください。具体的には、祈りが決め手となることに関してで、それは、この墮落した世界に生きるクリスチャンとしての私たちの生活のあらゆる分野においての事です。さらに具体的に言えば、私たちクリスチャンがすべての事について祈る時、すべての成り行きを変えるという事です。私が私自身の祈りの生活の中で学んでいることの一つは、私が祈りさえしていたら、全く違った結果になっていたであろうという状況がある事です。そして逆に、私の人生の出来事の中で私が祈ったために、明らかに非常に異なる結果となった事もあります。ある夜、祈り会の前に、私が考えていた事を分かち合っていたのを覚えています。そしてその...敵はいつも予測通りに動きます。日曜朝の前はいつも土曜の夜に。火曜日夜の祈りの前は、火曜日に。木曜日夜の聖書研究の前は、常に木曜日に。タイマーをかけておけるほどです。おお、時間通りだな、ほら、来た。しかし、この特定の火曜日にはある問題が起きました。私はすぐに祈りました。こんな感じで祈りました・・・祈って、時々、オオ効果があった！って感じの時もありますよね。何か起きた。そういう感覚です。それは聖霊が、あなたの霊とともに証しをしているような感じです。ホーこれは、私と聖霊の間では好ましいことだ。神はその祈りを聞いて下さった。だからこの圧倒的な平安があって、神がこう語っているようでした。「引き受けた、さあ、見てて。」これは午前中のことでした。それから私はこの激しい霊的な戦いに入って祈っていると、午後には、神にしか出来ないような形で問題は解決していました。神にしか出来ないように。そして神はそれが紛れもなく神の業だと分かるように、それをなさいました。時々、何か起きて、それが主による事だと分かる時があるでしょう？他に説明がつかないから..まあ、そういう感じでした。その日の夜の祈り会の前に主が私に示して下さいました。。。その時にもお話ししましたが、私が祈っていなかったら、あの状況は大きく違った展開になっていた可能性があったということです。背筋が凍るような思いがしました。なぜなら、それが意味するのは、祈りには、あなたの人生のあらゆる状況を変える傾向があるという事だからです。時には、状況が一瞬にして変わることもあります。一瞬で！私がしたいことは、もっと良い言い方がないのですが、皆さんに三つの鍵についてお話することです。祈るための三つの方法。私は世にハイジャックされるのが大嫌いです。(アラブ人はハイジャックという言葉を使うべきではないのは分かっていますが)、世界は、聖書の真理と原則をハイジャックするのです。その一つが...私がイラッとするのは「成功への秘訣」です。世はそれを私たちから完全に盗んで

しまいました。それを損ない、冒とくし、それを一般的で 世俗的なものにしてしまったのです。ですから、私はいつもこうやって前置きするんですが、これがパウロの成功の秘訣だったんです。これが祈りに関しての、成功の秘訣です。一つ目が画面に出ますが、とても重要なものです。それは「謙虚さ」です。実際、ここから始まります。私にとって何が印象的かという、それはパウロが... これはあの使徒パウロのことなんです。彼はへりくだって、兄弟姉妹に 自分のために祈ってくれるよう頼んでます。それは謙虚さです。と言うのも。。。もし、私が使徒パウロと知り合いだったら、私の方が彼のところに行って言うでしょう。やあ、パウロ、君は神とつながってる。祈ってくれないか？ いいえ、これはその逆です。パウロはへりくだって、「私には祈りが必要なんだ」と認めています。私にとって、本当に悲しいのは、多くのクリスチャンは、キリストにある兄弟姉妹の ところへ行って、安心して祈りを求めることができないと感じています。あなたの信仰はどこにあるのだ？ あなたはもっと霊的に成熟していると思っていたのに。それは自分の弱さを認めているようなものです。残念なことに、その逆が真実なのです。実際、パウロは自分の弱さを誇ると言います。なぜなら、彼は弱い時にこそ、強いからです。上るためには下らねばなりません。（上り道は下り道）興味深いのは、ローマ人、コリント人、エペソ人、ピリピ人、コロサイ教会への手紙の至る所で、パウロが、自分のために祈るように頼んでいることです。私が思うに、彼がそうした理由は、パウロは、神の民の祈りには、福音を広める働きを効果的にする力があることを、よく知っていたからです。考えてみれば、祈るといふ行為そのものが、自分自身の謙遜さと不足を認めることです。神が助けられないのは、自分に助けが必要だと思わない人たちです。私は信者になったばかりの頃、信者ではない従兄弟に話をしていました。私はただ祈って、神に助けを求めているんだ、と。彼にも祈ってくれと頼みました。彼は私に言いました。「神は自らを助ける者を助けるのだと 知っているだろう。」私はまだ聖書を読んでいなかったの、その節を探しました。私は、それはもう一つのあの「きれいな好きは敬神に次ぐ美德」という聖句の 隣にあるかなと思いましたが、見つかりませんでした。聖書の中にはないからです。それは「フレッシュ人への手紙第一」か何かにあるかもしれませんが、ここ(聖書)にはありません。聖書の中にはない理由は、その反対が真実だからです。神は、自分ではどうにも出来ない人を 助けてくれます。しかし、私たちはとてもプライドが高く、とてもうぬぼれが強く、助けを必要としているなんて、死んでも認めたくありません。助けがいらいますか？

—はい。弱虫だなあ。—わかっています。それは不足を認めることであり、信仰による行為です。箴言の中で.... 私たちはこの書を終えたばかりですが... 箴言全体を通して、次から次へと書かれているのは、謙虚さから来るもの、謙虚さの故に来るもの。謙虚さには知恵が伴います。知恵を必要としてますか？ それは謙虚さから来るものです。

「**主の御前でへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを高くしてくださいませ。**」(ヤコブ 4:10) 私は神が、私の人生の中でなされた最も奇跡的な、超自然的なことのいくつかを考えてみます。それが起こったのは、いつも例外なく、私がへりくだり、祈り、私が求めていたものを 与えてくださるよう神にお願いしたからです。つまり、私のクリスチャン人生を通して、神が私のためにして下さった 壮大で輝かしいことはすべて、祈りのために実現したのです。祈りです。ただ祈ること。ところで、祈りが複雑なものではない事を 私たちが理解しているのを確認していいですか？ ちなみに、これもまた敵の戦術の一つです。敵は祈りを複雑にしようとし、あまりにも複雑になって、私たちは祈らなくなります。何年も前、私は祈りました。神よ、私は祈りの人になりたい、私を祈りの人にしてください。それで、私は祈りの本を買ってきました。超分厚い本、E.M.バウンズ著！おおお〜〜〜。素晴らしい本です、そ

これは間違いはありません。このくらいの厚さ。よし、この祈りの本を読破しよう。そこで読み始めました。主はただ言われました。「ただ祈ったら？」この祈りについての本を読むのに掛かる時間、その間に祈ってもいい。それで私は本を棚に戻し、祈りました。祈りとは、ただ主に語りかけることです。神と話をすることです。パウロが「絶え間なく祈る」事について 言ってますよね？「祈りましょう」と言うと、 先ず、どうなりますか？ 頭が下がり、目が閉じられ、 たぶん手が組まれますね。旧約聖書で、誰かが祈る場面では、どちらかと言うとこんな感じです。知ってました？ 神に呼ばわっています。ひざまずいてしようと、 ひれ伏してしようと、 体の姿勢はそんなに重要ではありません。神の前での心の姿勢が重要なのです。へりくだって、 ただただ神に向かって呼ばわる。神よ、私にはあなたが必要です。ああ、主よ、私はあなたを必要としています。それは、神の耳には心地良い響きです。

2つ目の鍵は「具体性」で、それは2節と3節にあります。パウロは、自分のために祈ってくれるように頼む上で 具体性をもってそうする事に注目してください。それはただの一般的で、 大まかなものではありません。「私のために祈ってくれますか？」 「ええ、祈りますよ。」 と、言うような...私たちは幾度そうするでしょう？ 「ねえ、あなたのために祈ってますよ。」 ほんとに？ それともこれはどうでしょうか？ 注意しないとイケませんが、私はいつも良くないものだなど分かるんです。「このメールを送る前に祈りました」と言われたら。ああ、やだなー。私が聞きたいのは、いいですよ、あなたがそれについて祈ったのなら、 神は何と答えられたんですか？ あなたは神の答えを待ちましたか？ なぜなら、祈りは独白でなく、対話ですから。それは会話で、主と交信することで、 主は返事をされます。そうですよ、主は語り返されます。おもに、御言葉を通して。しかし、パウロはとても具体的です。これは重要なことです。なぜなら、神が祈りに答えて下さった時に、 祈りの具体性によって 神が祈りに答えて下さったことを、 知ることになるからです。もしそれが一般的な祈りなら、 答えも一般的になるでしょう。主よ、これをして下さるよう祈ります、 彼らを祝福してください、 これを祝福してください、それだけ。そして神がそうして下さいても、 あなたはこんな感じです。「やってくれたって？」 そうですね、あなたは神にお願いしたでしょう。それは神の御旨でした。神は祈りに答えてくれました。「あら、そう？」 具体性があれば、神が具体的に答えて下さった時に、 曖昧さはありませんよね？ では、パウロがへりくだって彼らに頼んだ 具体的な祈りの内容とは何でしょうか？ 「ひねくれた悪人どもから 救い出されるように祈ってください。」 と彼は言ってます。それは良い祈りですね。明らかに、パウロは多くの攻撃を受けていました。本当です。それで彼は、自分がこのひねくれた悪人たちから救い出されるように祈って欲しいと 彼らに頼んでいます。それは、 ともや悲しいかな、 私たちの、今の時代では、あなたが誰かに そのような具体的な祈りを求めると、 こんな反応が戻って来ることがあります。

「元気を出せ！ 可愛いこちゃんよ。 独力でやり遂げたらどうだ？」 「どうしたのだ？」 いや、祈りが必要なんです。祈りが必要なんです。あえて言うならば..私がこう言う時、 隣に座っている人を見ないでくださいね。この美しい愛に満ちた素晴らしい教会の中には、あなたが想像もできないような事を 経験している人たちがいます。そして彼らはあなたにこう言えたら どんなにいいだろうと思っています。「私は本当に苦悩しているんです」と。祈ってもらいたいんです。この特定の問題のために祈ってもらいたいんです。私のために祈っていただけますか？ 3 節では使徒パウロの心が見えます。新約聖書の学びを通して 私たちがパウロのことをよく知ってくると、パウロがとても愛情深い人だったことが、 非常に明らかになってきています。使徒パウロが、あなたにはどう映っているかは分かりませんが。大胆不敵なのは確かですが、 愛があると云ったら...ああ、彼はとても愛情深い人で、 このクリスチャンたちをととても

愛していました。自分のために祈ってほしいと頼んでいる際にも、パウロは彼らを励ましてもいるのです。私はこう考えています。彼らは、パウロがいつも自分たちのために祈っていることを知っていました。このテサロニケの教会への手紙や、彼のすべての手紙の中にも、それが見られます。コロサイやピリピ、テサロニケなど、どこでもその人たちに聞いてみたら...パウロはどんな人ですか? オ～～彼は祈りの人で、愛に溢れた人です。彼はとても哀れみ深く、思いやりがあります。彼はいつも私たちのために祈ってくれています。それが彼らの答えだったでしょう。残りの時間を費やしたいのは、この最後の鍵です。その理由は直ぐに分かると思えます。4節と5節にあります。それは「粘り強さ」です。私は、祈りに粘り強さがいかに重要かは、いくら誇張しても、誇張し過ぎることが出来ないのではないかと思います。ここでパウロは確信を持って彼らのために祈ります。パウロは彼らの祈りを求めましたが、また、彼らのためにも具体的に祈っています。主が彼らを導いて、神の愛と忍耐を持たせてくださることを。そこに暗示されているのは、彼らには、それが問題だったということです。これは彼らにとっては、課題でした。忍耐力、持久力、自信。だからパウロは、彼らがどんな祈りを必要としているかを知っていました。どうか知っておいてください。この分野で...あなたが祈りを必要としていることを私は知っています。なせなら、あなたがたは継続して、耐え、粘り強く祈る必要があるからです。実際に確信を持って粘り強く祈ることが、祈りが応えられるかどうかの鍵となります。では、どうしてそうなのか、説明します。確信を持って祈ること、それが燃料となって... 実に、祈りへの確信こそが、祈りに粘り強さのタンクの燃料なのです。こう言った方が良いかもしれませんね。祈りの答えが得られるという確信がないならば、私は祈り続けられない。その一方、私が確信と信仰と信頼を持って、私が粘り強く祈れば、神が私の祈りに答えてくれると信じるなら、私はほとんどの祈り通すでしょう。言葉遊びのように聞こえない事を願いますが、このように言えるかもしれません。やはり、アラブ人が飛行機の例えを使うべきではないことは知っていますが、「確信を持つこと」と「粘り強さ」が、祈りという飛行機の二つの翼です。それが飛行を可能にします両方が必要です。両方。その確信は、...私はダビデのことを考えます。「私は失望していただろう。」しかし、次のことを知っているのです、確信を持ち続けました。詩篇 27 章 13—14 節です。

#### 詩篇 27 章 13—14 節

私は祈りの答えを見る。「生ける者の地で主のいつくしみを見る。」

ただ待っていて。とにかく待っていて。今に分かります。私は、まだ確信している。確信を失ってははいない。これからも、粘り強く、我慢し、続けて祈ります。ちなみに、祈りは単純であるかもしれませんが、それは容易という意味ではありません。「単純」は「容易」と同義ではありません。もう少し説明して詳しく述べる必要があるのかもしれませんね。何か単純だからといって、それが容易であるとは限りません。祈りは大変な作業です。祈りに勤しむ(励む) ...。パウロはテサロニケの人達に向けて、第一書簡にこう書いてます。彼は実際に、彼らへの愛と祈りを陣痛で苦しむ女性のようにだと描いています。パウロはそれほど彼らを愛していたのです。パウロは彼らのために祈りに勤しんだ。聞いてください。私は四人の子供たちの出産に立ち会いました。知っておいてもらいたいんですが、それはとても苦痛でした。妻にとって。私は妻に対して、深い尊敬と賞賛と憧れを持っています。出産した女性たちに。まあ、すごいこと。妻は、トリソミー18の問題があったノエルの場合を除いて、全ての出産に無痛分娩の硬膜外麻酔はしていません。自然分娩です。彼女は何もかも感じたんです。で、私はその場にいました。彼女はある時私の手を握っていたんですが、血流を止めてしまいました。手が白くなってきたので、

彼女に伝えようとしたのですが...それを証明するビデオもありますよ。全ての出産を録画しましたから。とにかく、女性が出産する際のあの分娩室？そしてパウロは彼らに対する愛と祈りを それにたとえている？この愛に満ちた教会の牧師として 私は告白せねばなりません。神は、私が皆さんを愛していることをご存知ですが、それは私に自省を促します。と言うのも、私はそのように言えるかどうか 分からないからです。それは愛です。さて、考えてみてください。私たちが一番よく祈るのは、一番愛している人のためではないでしょうか？ ですね？ 連帯しています。この粘り強さについて、イエスがルカ 18 章で教えられた例え話の文脈でお話ししましょう。私たちはこれを、親しみを込めて「粘り強い未亡人のたとえ」と呼んでいます。これは実際よく誤解される例え話です。例え話のポイントは、並列、そばに、ピッタリ寄せる、比較といったものです。例え話とはそういうもので、イエスはたとえで教えられました。ルカの福音書 18 章 1 節に、「イエスは彼らにたとえを話された」とあります。その例え話のポイントは次の通りです。彼らが常に祈るべきであり、決してあきらめてはならないことを 彼らに示すためです。それがこの例え話のポイントです。さて、これがそのたとえです。

ルカの福音書 18 章

2 ある町に、神を恐れず、人を人とも思わない裁判官がいた。

まあ、良い人ですね。

3 その町に一人のやもめがいたが、彼のところにやって来ては、『私を訴える人をさばいて、私を守ってください』と言っていた。

4 この裁判官はしばらく取り合わなかったが、

その期間は書いてありませんが、ある程度の期間が経っていたようです。そして彼女は毎日、一日中、毎晩、彼をうるさく悩ませていたようです。ついに彼は我慢できなくなりました。イエスは言われます。彼はついに心の中でこう考えた。

「もういい加減にしてくれ。」 そんな風には言いませんでしたけど。

5 『私は神をも恐れず、人を人とも思わないが、このやもめは、うるさくて仕方がないから、彼女のために裁判をしてやることにしよう。そうでないと、ひっきりなしにやって来て、私は疲れ果ててしまう。』言い換えれば、「ほらっ！もう構わないでくれ」ってことですね。

6 主は言われた。『不正な裁判官が言っていることを聞きなさい。』

7 『まして神は、昼も夜も神に叫び求めている、選ばれた者たちのためにさばきを行わないで、いつまでも放っておかれることがあるでしょうか。』

8 『あなたがたに言いますが、神は彼らのため、速やかにさばきを行ってください。だが、（これは興味深いですね）人の子が来るとき、はたして地上に信仰が見られるでしょうか。』

私にとってそれが興味深いのは、私たちは、祈りが信仰の表われ、実証である事を知っているからです。さあ、正直になりましょう。私たちに信仰がなければ、私たちは祈らないでしょう。だって、意味がないですよ。あなたが祈るといふ事だけでも あなたには信仰があるってことですよ。ですから、イエスがここで何を言っているかと言うと、

あなたがたのものにならないのは、あなたがたが願わないからであり、（ヤコブ 4:2）

あなたがたが願わないのは、あなたがたに信仰がないからだという事です。ヤコブはこれに同意しています。しかし私にとって印象的なのは、イエスが神をこの不正な裁判官に比べる たとえを用いて教えられた事です。それには正当な理由がありました。なぜなら、ここにある発想は、もし不正な裁判官が

彼を放っておかない未亡人の しつこさと粘り強さゆえに正義を与え、祈りに答えるのなら、まして、正しいお方であるあなたの天の父は、 あなたの祈りに答えられない事があるでしょうか。イエスは言われますね。

「求める者は受け、探す者は見出し、たたく者には開かれます。」 (マタイ 7:8)

原語では“求めよ”、“求め続けよ”という 意味があるのをご存知ですか？ 探せ、探し続けよ。止まるな！ たたけ！ 叩き続けよ、止めるな！ 諦めるな！ ええ、でもね牧師さん、 私は何年も彼らのために祈ってきたのです。じゃあ、もう止めるつもりですか？ 有効期限があるのかな？ 諦めるつもりなの？ ええ、神は私の祈りに 答えてくれないのです。ああ、それはあなたの思い違いです。神は、いつもあなたの祈りに答えられます。あなたは、あなたの祈りに対する神の答えが 気に入らないだけかもしれません。いいですか、神は三つの内のいずれかの 答え方をされます。“よし”と言われるか... 私はいつも、「よし」という答えが大好きです。はい、感謝します、主よ。または、“ダメ”なぜ駄目なのですか？ もしくは、三つ目の答えは... 「まだだ。」 「待ちなさい」私はイザヤ書30章18節を思い出します。

イザヤ書 30 章 18 節を

「それゆえ主は、あなたがたに恵みを与えようとして"待ち"、」

とあります。私はある人が言った気の利いた言い方が気に入っています。一番うまく言えていると思います。祈る願いが間違っているとき、神はダメだ (No) と言います。あなたが間違っている時、神は成長しろ (grow) と言います。タイミングが間違っている時、神は慌てるな (slow) と言います。しかし、求めるものが正しく、あなたも正しく、タイミングも正しい時、神は「行け！ (go)」と言います。神が時々、あなたの望む時に、祈りに 答えてくれない事もあるでしょう。それはあなたにとって最

善ではないからです。私の祈りの生活を大きく変えたものの一つに、 次のようなシンプルな真理があります。神は、いつも、私が自分自身の祈りに答えるのと 全く同じように私の祈りに答えられるという事です。神がご存知の事を私が知っていたら。たまに、私はこういう考え方をしますが..神はユーモアのセンスを持っておられますから。私は、天にいる神を このように思い浮かべます。私は具体的に祈っています。へりくだって、粘り強く、具体的に、謙虚に そして、私は祈りながら神に呼ばわっています

す。そして神がこう言われるような感じです。「その祈りは答えられない方があなたのためだ」 「なぜなら、もしわたしがその祈りに答えたなら 」何年も前にある人が言っているのを 聞いたことがあります。それを忘れる事が出来ません。私はいつも叶えられた祈りを 神に感謝しています。が、時に、私は神が答えられなかった祈りの方を、 もっと神に感謝することがある。と言うのも、振り返ってみると、

私は祈りのリストを記録しています。何年も前からやっています。時々、私は時間を割いて これは私にとってとても健全な事なんです、 その祈りをいくつか見直します。祈った日付と、具体的は祈りの内容を記録してます。エクセルのスプレッドシートで。これには臨床用語がありますが、 全部整理されています。私の問題はここまでにしておきます。日付と、祈りと、それが答えられた日と、 どうやって答えられたかが書いてあります。私はこれを何年も続けています。 祈祷日誌も持っています。私は頻繁に、その祈りのリストを見直します。10年前の、祈りのリクエストを読んでいます。まず自分が謝っていることに気づきます。神様、本当にごめんなさい、 こんな祈りをして。私は何を考えていたのでしょうか？ 「あなたは何も考えてなかったんだよ。」あなたが答えられなかったのも当然です。あの日、あのように祈ったあの祈りに 答えてくださらず、感謝します。なぜなら、もしあなたがあの日、 あの祈りにあのように 答えていたら、大惨事になっていたでしょう。たまに私たちが祈ると、非常に具体的に祈るん

ですが、神が「それだけ？」と言っているような時があります。「それだけなの？」つまり、私たちの祈りは低すぎ、小さすぎるのです。神は。。。決して神が嫌悪感や苛立ちや軽蔑を感じているとは想像しないで下さい。私が思うに、神はものすごく思いやりと愛に満ち、優しさと忍耐力があって 私たちが

祈っていると、神はこんな感じで..... 「わたしは神だ！」あなたの神はこんなにも大きいのに、どうしてそんなに小さい祈りをしているのか？ ところで、なんで止めたんだ？ 何故あきらめたんだ？ なんでそんなに早く降参したんだ？ ああ、あなたが粘り強く祈ってさえいたら... ちょっと面白いんですが、祈りにおいて、粘り強く続けることが... それは簡単な事ではありませんから。あなたが祈りに励むことが、あなたを変えるのです。祈りが状況を変えると言いますが、こう言われるのを聞いたことがあります。祈りは、“祈る人”を変える。祈る人を変えます。あなたが貫き通し、諦めなければ 次の事をもって締めくくります。あなたの状況は私には分かりませんが、主は知っておられます。それが何であれ、私はあなたを励ましたいと思います。私の言うことを誤解しないで下さいね。私にはどうでもいい事なんです。実際は氣遣っていますよ。でも、それがどれほど困難に思えるかは どうでもいいんです。それがいかに不可能なようであっても。問題がどれほど大きく見えようとも、私は気にしません。もし、祈って、祈り通すなら、神はあなたの祈りに答えられます。それがどんなことであっても 神は、答え

ないわけにはいかない。これが適切な英語ではないことは分かってます。それは神のご性質と矛盾している。墮落した、不完全な、罪深い地上の親として、それを考えてみて下さい。あなたの子供がやって来て、あなたに呼ばわれます。あなたは返答しないつもりですか？ましてや、あなたが天のお父様に呼ばれる時、神はあなたの叫びの声に 耳を傾けてくださいます。それが天の父のご性質であり、神はそれほどいつくしみ深いのです。私たち夫婦の息子たちがまだ幼かった頃、何年も前のことです。あの「泣かせっぱなしにする」のが 流行っていた頃です。ご存知ですか？「泣かせておけ！」泣く度に抱っこしちゃいけない。だって...そんな風に成長したら 子どもをひどく損なってしまうから。先日、妻と話し

ていて、私たちは本当に失敗しました。今13歳の娘だって いくつか直しましたが、それでもね。娘

に、「私たちは良い親だと思う？」と聞くと、彼女の答えは「ノー！」。私たちは良い親ではありません。私たちは子供が生まれる前に子育ての本を読みまくったのですが、長男を産んだ途端に、それらの本はゴミ箱に行ってしまう。でも私たちは、「泣かせっぱなしにしないで」という本を読んでいました。...抱き上げるな！抱くな！泣いてるんだから、抱っこしないで。

泣かせておけ、泣き止むまで泣かせっぱなしにして。ということで試してみました。私たちは自分たちの部屋に入ります。そして、それはまるで...え、私はこの状態の中で寝ておくはずなわけ？と言うのも.....我が子が泣いている。泣き喚いても放っておく？神は、私を泣かせっぱなしにしない。私は1分くらいは耐えたんじゃないかと思えます。と、言いたいところですが、45~50秒くらいだったと思います。「大丈夫だよ~」..... ほら、乳を飲ませて！エエッ、男性陣は皆 同じことやったでしょう？泣き止ませて、泣かせないで！ほら、お乳をあげて！その話をしたのは、最後にこう言うためです。知っての通り、自分の子どもの泣き声は、ただもう、あなたの内側で全てが おかしくなりそうです。ましてや、それは私たちの天の御父に どれほど当てはまるでしょうか？ 神は応えてくださいます。それがどんな事であっても。絶対に、絶対に、絶対にあきらめないで下さい。特にネットでご覧になっている方、気まぐれな娘や、放蕩息子のこと、彼らのために祈ることを 決して止めないでください。祈れば祈るほど悪化するように思えるのも知っています。決して諦めないでください。絶対あきらめないで。決して止めないでください。粘り強く祈って。粘り強く祈って。皆さん、お立ち下さい。お祈りしましょう。

主に感謝します。主よ、私はいつも祈りについて教えるとき、自分が不資格だと感じます。これは尽きる  
ことなく、計り知れず、完全に理解できません。主よ、祈りに感謝します。いつでも、何についても、  
どこでも、あなたのもとに来れることに感謝します。私たちがあなたに呼ばれるとき、あなたは私たちの叫び  
の聲に耳を傾けて下さることを感謝します。敵が敗北した敵であることに感謝します。主よ、私たちが、祈  
りの力を最大限に利用する事が出来ますように。イエスの御名によって。アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7